

幕末維新 150 年 近代日本と土佐

— 維新・民権期の思想、理念は

どのように実現され定着してきたのか —



講師 川田 稔 名古屋大学名誉教授

維新时期から民権期にかけて形成されてきた、自由や独立、民権の思想や理念が、濱口雄幸らの政党政治をへて、日本国憲法下の現在まで、制度的にどのように実現され定着してきたのかを考えます。

申込
不要

● 2017(平成 29)年 3 月 18 日(土) 午後 3 時～5 時

● 自由民権記念館 民権ホール ※入場無料 駐車場あり

講師略歴

1947 年生。高知県出身。追手前高校卒。
1978 年名古屋大学法学部助手。以後、日本福祉大学教授、名古屋大学教授をへて、現在、名古屋大学名誉教授、日本福祉大学教授。2012 年『昭和陸軍の軌跡』で第 21 回山本七平賞受賞。

研究分野

近代日本の政治外交史、政治思想史を専門とし、戦間期政治史、濱口雄幸研究の第一人者。また陸軍史や柳田國男の政治思想史の研究も進めている。

主催 高知近代史研究会
高知市立自由民権記念館
指定管理者イヨテツ総合企画(株)

著書 (2000 年以後)

- 『激動昭和と濱口雄幸』
(吉川弘文館〈歴史文化ライブラリー〉、2004 年)
- 『濱口雄幸—たとえ身命を失うとも』
(ミネルヴァ書房〈日本評伝選〉、2007 年)
- 『濱口雄幸と永田鉄山』
(講談社選書メチエ、2009 年)
- 『満州事変と政党政治—軍部と政党の激闘』
(講談社選書メチエ、2010 年)
- 『昭和陸軍の軌跡—永田鉄山の構想とその分岐』
(中公新書、2011 年)
- 『戦前日本の安全保障』
(講談社現代新書、2013 年)
- 『昭和陸軍全史』 1・2・3
(講談社現代新書、2014～2015 年)
- 『石原莞爾の世界戦略構想』
(祥伝社新書、2016 年)
- 『柳田國男—知と社会構想の全貌』
(ちくま新書、2016 年)

